

令和2年5月12日

東京都中学校体育連盟バスケットボール部 選手の皆さんへ

東京都中学校体育連盟バスケットボール部
競技部長 菅原 芳雄

令和2年度東京都中学校総合体育大会兼選手権大会中止を受けて

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う突然の非常事態宣言を受けて、臨時休校措置がとられてから2ヶ月が過ぎました。皆さんも知っての通り、5月末まで臨時休校は続く見込みです。この為、本当に残念ながら皆さんが楽しみにしていた夏季大会の都大会を中止することになりました。春季大会に続いて、3年生の皆さんにとっては、中学校生活の集大成となる大会を中止することは、これまで努力を続けてきた皆さんのことを思うと断腸の思いです。その悔しさは、3年生はもちろん、3年生と共に汗を流してきた2年生や、上級生と共に頑張ろうと入学してきた1年生も等しく感じていることと思います。更に言えば、君たちと多くの時間を過ごしてきた顧問の先生方や、卒業生の先輩たちも同じ気持ちだと思います。

東京都中学校体育連盟としても、大会開催を目指して話し合いを重ね、検討をしてきましたが、皆さんの命を、そして皆さんの大切な人の命を守るために、このような結論となりました。私自身も、先に発表された全国大会・関東大会中止を受けて、「せめて都大会だけは・・・」という気持ちに変わりはありませんが、今なお医療現場で医療崩壊を必死に食い止めようとしている医療従事者の皆さんをはじめ、緊急事態宣言の真ただ中で、私たちの命や、生活を繋ぎ止めて下さっている方々の苦労を思うと受け止めざるを得ません。

今まで、当たり前のように過ごしていた学校生活や部活動が、多くの方々のサポートで成り立っているという話を一度は聞いたことがあると思います。しかし、皆さんにそんな話をしていた我々さえも、こんな日が来るとは思ってもいませんでした。当たり前であったことが、当たり前でないことに気付いた今、顧問の先生たちは皆さんのことを思っています。この状況で、皆さんは正しい行動をとれているだろうか。家族の一員としてチームと同じように助け合っているだろうか。大会中止を受けて自暴自棄になっていないだろうか。苦しい練習に耐え抜いてきた皆さんだからこそ、きっと大丈夫だと信じていますが、今はそんな話を顧問の先生方は、目と目を合わせて話せないのです。皆さんもこの状況から既にわかっていることと思いますが、『努力は必ず報われる』とは言いきれません。しかし、間違いなく『人は努力すれば必ず成長できます』。3年生の皆さんはバスケットボールという競技を通じて、技術向上を目指しながら、チームメイトとの絆を深め、励ましあい、困難な状況でも諦めない心を育ててきました。時には悔しい思いをし、素直になれなくて仲間と衝突したこともあるでしょう。それでも、中学生という多感な時期に、バスケットボールに打ち込み、その為に多くのことを犠牲にして取り組んできた時間は、きっと皆さんを選手としてばかりでなく、人としても成長させてくれたことと思います。残念ながら目標となる大会がなくなってしまい、勝利という形で今までの努力を収めることは叶わなくなりましたが、『どこまで勝ち上がったか』ではなく、『ここまで頑張ってきた』という事実は、決して消えてなくなってしまうものではありません。いつしか部活動で学んだことが、皆さんの人生において、どちらの道に進むべきかを悩んだときに、正しい道を示してくれることと信じています。いつかはこの状況も終息を迎える時が来ます。その時まで、今まで当たり前と思っていた環境や、サポートに感謝をして、希望を捨てずに頑張っていきましょう。最後に、皆さんと、皆さんのご家族の健康を願っています。